

# 令和4年度鹿児島学習定着度調査の結果について

鹿児島市立花尾小学校

令和4年度1月に5年生を対象に実施した鹿児島学習定着度調査の結果について、公表します。各家庭でも家庭学習の在り方の参考にしてください。

## 1 鹿児島学習定着度調査の目的

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力の状況及び児童の学習に関する意識や学び方などの学習状況の把握
- (2) 全体の状況把握、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫・改善

## 2 調査の対象学年

小学校第5学年（国語、社会、算数、理科）

## 3 本校児童の実態

全体的な傾向としては、全ての教科で県や市の平均を下回っている。国語が特に課題である。

算数と理科については無回答がなく全ての問題に取り組むことができた。

個々で見ると、4つ全ての教科、またはいくつかの教科で県や市の平均を大きく上回る児童もいる。

## 4 本校児童の課題と今後の取組

	課題	今後の取組
【国語】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主語・述語や修飾・被修飾語の関係についての理解</li><li>・ 文章を読んで評価すること</li><li>・ 前後の文のつながりを考えること</li><li>・ 条件に合わせて文章を書くこと</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基礎的・基本的な内容の繰り返しによる定着を図る。</li><li>・ 文章をじっくり読み、自分一人で解決を目指す時間を確保する。</li><li>・ 条件を与えた作文（新聞感想文など）を書く機会を意図的に設ける。</li></ul>
【社会】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 様々な職業の抱える課題や改善への工夫や努力の理解</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 様々な職業の学習をすることで、働く人の喜びや苦勞を自分だったらどうするかなどを考えさせ、共感的に理解させる授業改善を行う。</li></ul>
【算数】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 対角線の性質など図形の理解</li><li>・ 式が表すことを説明すること</li><li>・ 論理的に考えること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 教科書どおりの言葉だけではなく、それぞれが様々な表現でまとめ共有することで言葉を覚えるだけではなく意味をより深く理解させる。</li><li>・ 資料から分かることを整理し、考察する活動を増やす。</li></ul>
【理科】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実験の条件制御</li><li>・ 方角、コンパスの使用方法など全学年までの学習内容の確実な定着</li><li>・ 天気の変化について</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 教師側から全ての実験方法を提示するのではなく、なぜこの実験が必要かやどのような条件制御が必要か等を児童自身が論理的に考えるようにさせる。</li><li>・ 動画等を活用して、学習と身近な生活場面を関連付けるなどの工夫を行う。</li></ul>

## 5 学校全体で取り組むこと（改善策）

- 思考・判断を促す発問の工夫、考えを児童同士が説明し合う場の工夫、思考過程がわかる板書の工夫等を行い、少人数学級のよさを生かし、児童自身が主体的に学習に取り組む授業改善に取り組む。
- 教師のICT活用とともに、児童自身が積極的・主体的にICTを活用した授業を展開する。
- ドリルタイム（業間）と学習チャレンジタイム（毎月土曜授業日1校時）で、知識及び技能の活用や習熟に取り組む。
  - ・ かごしま学力向上 Web システム、アシストシートの問題に取り組む。
  - ・ 全学年の学習内容を振り返り、定着度を確認する。
  - ・ 意見文や報告文、感想文などを書く機会を意図的に設ける。
- 家庭と連携し、児童が主体的に取り組むことができる家庭学習を行う。（iPad持ち帰りも含む。）